

From ASEAN

～足元の運用状況と注目銘柄のご紹介～

高成長ASEAN小型株式ファンド 追加型投信/海外/資産複合

- ▶ 本レポートでは、当ファンドが投資している「マニユライフ・ASEAN小型株式ファンド(適格機関投資家専用)」(以下投資先ファンド)の魅力をご紹介します。

足元の推移と運用方針

米国の関税政策が重石

2024年9月中旬以降、ASEAN株式市場のボラティリティが急速に高まりました。11月の米国大統領選挙後は、世界的に投資家のリスク回避の姿勢が強まったことや、FRB(米連邦準備制度理事会)の利下げペース鈍化の見方が強まり、長期金利が上昇したことがASEAN株式市場において逆風となり、基準価額は下落しました。

足元ではトランプ米政権の関税政策により、貿易摩擦や景気悪化が懸念され、ASEAN株式市場を含め世界各国の株式市場が動揺を続けています。

ASEANの経済成長は米国の関税政策の影響を受け、成長速度が鈍化することも想定されます。

関税政策の影響を考慮し、当ファンドでは、国内でのビジネス基盤を有し、バランスシートが健全な銘柄に厳選投資を行う予定です。

各国により異なるASEAN株式市場

2024年3月末以降、ASEAN小型株指数の構成国別のリターンは、国によってまちまちの展開となりました(図表2)。

具体的には、インドネシアやタイの下落が大きくなりました。インドネシアは昨年9月に利下げに転じ、内需拡大への期待から株式市場は上昇しておりましたが、その後の世界的なリスク回避の影響を受けたことや、通貨安が株式市場に対する下押し圧力となった結果、期間を通して大きく下落しました。

タイの株式市場は経済成長と関税政策の影響への懸念から下落しました。タイ中銀は景気減速懸念に対応するため利下げを実施し、景気の下支えを後押しする方針です。

一方、シンガポールは上昇しました。2024年の企業業績が市場予想を上回り、経済の底堅さが評価されました。

図表1 当ファンドの設定来基準価額の推移

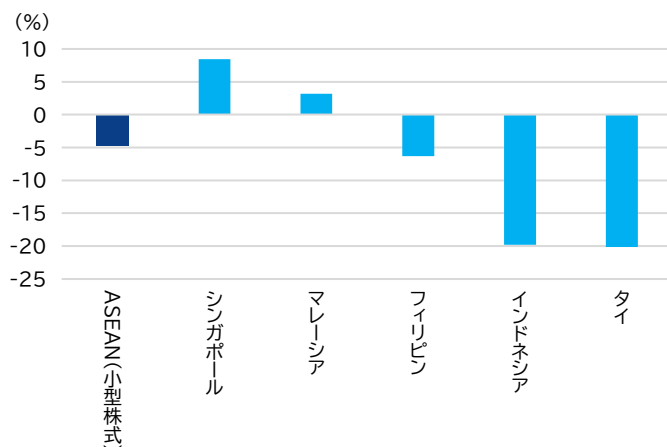
(期間 2023年9月27日～2025年4月10日、日次)



※当ファンド:高成長ASEAN小型株式ファンド
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

図表2 ASEAN地域の各国小型株式指数リターン比較

(期間 2024年3月29日～2025年3月31日、米ドルベース)



※ASEAN(小型株式):MSCI AC ASEAN Small Cap Index
※各国小型株式指数:各国のMSCI Small Cap Index

(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

割安な水準となっているASEAN株式市場

割安な水準となっているASEAN株式市場

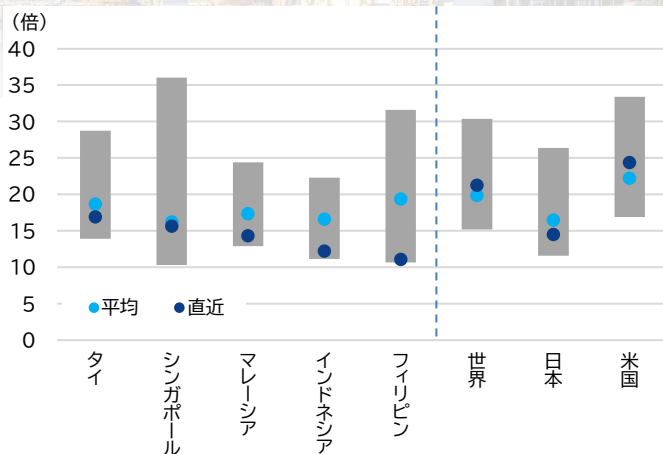
図表3はASEAN地域の株価指数と世界、日本、米国の株価指数の過去10年間におけるPER(株価収益率)の最大値・最小値と平均値・直近値を表したものです。

2025年3月末時点のPERは、世界株式が約21倍、米国株式が約24倍と、いずれも過去10年の平均を上回る水準となっています。これは、AI(人工知能)関連需要の拡大に対する期待感などを背景に、米国を中心とした一部のテクノロジー関連企業の株価が大きく上昇したことなどが影響しています。

一方、足元のASEAN株式市場のバリュエーションは、過去10年の平均を概ね下回っております。例えば、フィリピン、インドネシアの2025年3月末時点のPERは、それぞれ約11倍、約12倍であり、世界株式や米国株式と比べて大幅に割安で魅力的な水準にあるといえます。

図表3 ASEAN地域の株式のPER(株価収益率)

(期間 2015年3月31日~2025年3月31日、月次)



※平均:表示期間の平均値 ※直近:2025年3月31日時点の値
 ※各国指数:MSCIの国別指数
 ※世界:MSCI World Index

新規組入銘柄の紹介



ユニバーサル・ロビーナ(フィリピン)

企業概要

フィリピン最大級の消費者向け食品・飲料製品会社の一つです。同社は消費者向けスナック商品や飲料の生産・流通、砂糖や小麦粉等の商品、農業・工業関連事業等様々な食品関連事業を手掛けています。

注目点

国内事業においては、コストパフォーマンスの高い製品ラインを展開しており、市場でのプレゼンスを強化するために経営層の交代を行うなど、市場シェアの拡大を推進する戦略を進めています。また海外事業においても、過去最高の利益率となっています。

一時的に株価は調整していましたが、今後の株価上昇が期待できることや、同業他社や過去平均と比較して、バリュエーション面において魅力的な割安水準となっていたため、2025年3月に組み入れを開始しました。

図表4 株価の推移

(期間 2021年3月31日~2025年3月31日、日次)



※写真はイメージです。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先 ファンドへの組み入れを保証するものではありません

(図表3、4の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

注目銘柄の紹介



LPIキャピタル(マレーシア)

企業概要

マレーシアを拠点にシンガポールやカンボジアでも事業を展開する投資持株会社です。子会社を通じて火災・自動車・海上保険などのあらゆる保険事業を展開しており、特に火災保険事業において国内で高いシェアを有しています。

注目点

マレーシア最大の銀行の一つであるパブリック銀行による買収の発表により、一時株価は調整していましたが、この買収により、販売チャネルの拡大や、様々な金融商品のクロスセルの機会等、事業シナジーを背景とした業績拡大が期待されます。

またシンガポールとの共同経済特区の設立により、インフラや不動産開発が促進され、保険需要増加の恩恵を受けることが見込まれます。

図表5 株価の推移

(期間 2021年3月31日～2025年3月31日、日次)



※写真はイメージです。



ブルーバード(インドネシア)

企業概要

インドネシアの大手タクシー会社です。通常のタクシーから高級車のハイヤーサービス、観光バス等の様々な輸送手段を提供しています。

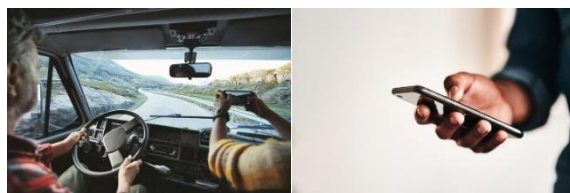
注目点

独自の配車アプリケーション「MyBluebird」やキャッシュレス決済をいち早く導入し、デジタル戦略による顧客獲得にも積極的な経営を行っています。デジタルプラットフォームの活用によりユーザーの利便性が高まることで、インドネシアが有する豊富な若年層や観光客をひきつけ、中長期的に安定した利益成長が期待されます。

ASEAN地域でタクシー及びライドシェアリング分野での競争が激しくなっている中、同社は非タクシーセグメントからの収益貢献が増加しており、引き続き成長が見込まれます。

図表6 株価の推移

(期間 2021年3月31日～2025年3月31日、日次)



※写真はイメージです。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先 ファンドへの組入れを保証するものではありません

(図表5、6の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

高成長ASEAN小型株式ファンドに関する留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。ファンドは、アセアン諸国の株式、不動産投資信託証券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク(価格変動リスク、分配金(配当金)減少リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料 : $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\% \text{ (税抜} 3.0\%)$
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料 : ありません。
信託財産留保額: $1\text{口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額} \times 0.3\%$

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)
: $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.166\% \text{ (税抜} 1.06\%)$
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
: $\text{純資産総額} \times \text{年率} 2.046\% \text{ (税抜} 1.86\%) \text{程度}$
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用 : $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0132\% \text{ (税抜} 0.012\%)$
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧 (2025年4月18日現在)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		

<当資料で使用しているインデックスの著作権等について>

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>